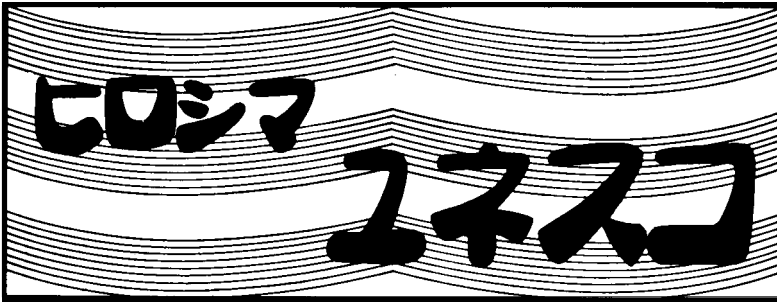


特集

中国ブロック・ユネスコ 活動研究会in広島

～広島ユネスコ協会設立40周年記念～



広島ユネスコ協会設立40周年事業の意義も踏まえて開催された
中国ブロック・ユネスコ活動研究会in広島 (2月8日)

「ESSDの推進が ユネスコ運動の未来を拓く」

広島で中国ユネスコ研究会開く

広島ユネスコ協会は、設
立40周年記念事業第3弾と
して、去る2月8・9日の
両日、広島市文化交流会館
を会場に「2013年度中
国ブロック・ユネスコ活動
研究会in広島」を主管して
開催しました。今回は、協
会設立40周年を記念する事
業に位置づけていることか

ら、当協会カラーの出た特
色ある会にすることに意を
用いるとともに、現在のユ
ネスコ運動の
重要な課題を
受けて、研究
会テーマを

活動奨励賞や活動発表、 基調講演、過去の事例報告も

「ESD（持
続可能な開発の
ための教育）の
推進がユネス
コ運動の未来
を拓く」とし
ました。
前夜からの
十数年ぶりの
大雪で出足が
心配される
中、井尾義信
文化部会長の
総合同会により二日間のプ
ログラムを展開。まず、
116名の参加のもとに始
まった開会式では、協正典
日本ユネスコ協会連盟理事

「ESD（持
続可能な開発の
ための教育）の
推進がユネス
コ運動の未来
を拓く」とし
ました。
前夜からの
十数年ぶりの
大雪で出足が
心配される
中、井尾義信
文化部会長の
総合同会により二日間のプ
ログラムを展開。まず、
116名の参加のもとに始
まった開会式では、協正典
日本ユネスコ協会連盟理事

（防府ユ協）、亀井章広島県
ユネスコ連絡協議会会長
（広島ユ協）による主催者
挨拶、北川建次広島ユネス
コ協会会長の歓迎挨拶のあ
と尾形完治広島市教育長の
来賓挨拶をいただきました。
ついで、研究プログラ
ム・「地域におけるESD
の展開」(AパートI)は、
広島ユネスコ協会の第16回
広島ユネスコ活動奨励賞表
彰行事と受賞者による活動
発表。例年と違う状況の中
での表彰行事、まずは足立
柳子教育部会長のこれまでの
経緯を踏まえた事業概要
説明からのスタート。つい
で学校部門5校、社会部門
6団体に北川会長から表彰
状と楯が授与されました
（3面に詳報掲載）。活動発
表は、どの団体も3分の持
ち時間をはるかに超える力
の入れようでした。参加者
にお願いした事後のアン
ケート（以下、アンケート）
では、「発表時間の管理が
悪い」、「時間の厳守が大切
だ」などの苦言が多かった
ものの、内容については「と
ても良かった」、「良かった
」あわせて（以下、「良かった
」

(2面へ)

た」68%でした。

つぎの当協会副会長・中山修一先生（元ユネスコ国内委員、広島大学名誉教授）による「ESD・ユネスコスクールはユネスコ運動の苗代です」と題する基調講演（2面左上に要点掲載）について、アンケートでは、「良かった」が79%の評価。「わかりやすく、興味が湧き、疑問が溶けた。将来の方向性を考えさせられた」、「基本を教えていただいた」、「ESD・ユネスコスクールのこれまでの取り組み、経緯がよくわかった」などの声が寄せられるなど参加者には大変好評のように見

受けられました。

「地域におけるESDの展開」(AパートⅡ)は、広島ユネスコ活動奨励賞第15回の受賞者の中からお願いした学校・団体それぞれ10分の事例発表。学校部門からは広島市立大林小学校、同職町中学校、同古田中学校。この奨励賞受賞がユネスコスクールへのきっかけとなった、地域とのつながりが深まった、などの発表はフロアにも興味深く聞かれたようでした。また、社会部門からのひろしま音読の会による詩「水ヲクダサイ」、「生ましめんかな」と被爆体験記の朗読は参加

者の心に強い感銘を与え、

また、小河内Oプロジェクト、平和大通り樹の会のそれぞれ地域の特性を打ち出した活動の披露は、社会教育におけるESDの推進に大きなヒントを与えてくれたようでした。そして、締めくくりは広島ジュニア・マリンバアンサンブルによる「情熱大陸」、「花は咲く〜復興支援ソング」などおなじみの曲の素晴らしい技倆による迫力満点の演奏。参加者の胸を強く打ち、しばらく拍手が鳴り止まず、しばし余韻の残る感動的な20分でした。

これらの事例発表には、

「それぞれ個性的な活動で、興味深く聞いた」、「継続的な優れた取り組みの事業が聞けて大変参考になった」、「各団体のユネスコ精神発揮のための苦労話は興味津々」、「どの団体の発表も聞きごたえがあった」、「ジュニアマリンバの演奏は素晴らしかった。心が洗われた」などと好評。評価も「良かった」が79%で、概して本研究会のテーマにふさわしいプログラムであったと思っています。

各県ユネスコ連絡協議会からの現況報告、日本ユネスコ国内委員会報告(同委員・岡崎天隆氏)、日本ユネスコ協会連盟報告(同連盟教育文化事業部・鴨志田智也氏)、岡山ユネスコ連絡協議会会長からの次年度研究会を津山市で開催する旨の挨拶、橋本徹決同事務局長からの今秋岡山市で開催予定の「国連ESD10年最終年会議」の案内があり、古田碩永副会長の閉会挨拶をもってすべてのプログラムを終了しました。

また研究会終了後、エクスカーションとして、柴田幸子平和・世界遺産部会長が広島平和文化センター・ピースボランティアの方とともに希望者5名を平和記念公園、追悼平和祈念館、原爆ドーム、本川小学校資料館へ案内いたしました。なお、アンケートでこの研究会全体の運営については、「良かった」が82%の評価。「広島らしい研究会であった」、「パートⅡが良かった。たくさんの事例発表があり、興味深く聞け

基調講演

中山修一氏

「ESD・ユネスコスクールはユネスコ運動の苗代です」

一、ESD(持続可能な開発のための教育)とユネスコスクール

一、文科省と県の取組
一、ユネスコ・ESDは、新しい社会、平和で持続可能な社会を目指す
一、ユネスコの当初の使命である「人の心に平和の砦を」に加え、日本の提案で新たに「平和で持続可能な社会づくり」が加わった(2005年)

一、ユネスコスクールの認定・加盟校推進。加盟校は世界で

9566校(2013・11)、日本は647校(2013年度)

一、ユネスコスクール実施のガイドライン

一、日本のユネスコスクール支援体制

一、地域ユネスコ協会の役割(ユネスコ活動推進における協会の重要性)

◎期待「ユネスコスクールに選ばれたことを学校の誇りにしてください。学校の実践活動の副題にぜひ「ユネスコの理想を求めて」を付けてください。

一、ユネスコスクールの認定・加盟校推進。加盟校は世界で





広島市立矢野西小学校



広島市立狩小川小学校



広島市立長束中学校



広島市立段原中学校



NPO法人 友愛アカデミー



広島市立大手町商業高校



広島国際ホームステイクラブ



大人のかくれ家倶楽部



みやじま未来ミーティング



まちづくり市民グループ「可部カラスの会」

た「たくさん学んだ」、「内容が良かった」、「会場が良かった」などの感想がある。半面、「開催時期が悪い。せめて3月に」、「時間配分に不満がある」などの声もあり、今後の会の持ちかたを検討する上での大切な意見となるものでした。

終わりに本研究会開催にあたり絶大なる協力をいただいた関係者の皆様にお礼申し上げます。

(副会長 古田碩永)

【学校部門】

- 広島市立狩小川小学校 独自の教材開発と授業で平和教育。地域の自然や伝統文化を生かした教育活動
- 広島市立矢野西小学校 ヒマワリをシンボルとして生命を尊び、動植物・自然を大切にする心を育てる
- 広島市立段原中学校 母校の歴史と世界の子どもの実態を見つめ、環境保全の活動で平和の心を育む

- 広島市立長束中学校 千羽鶴の再生紙カードにピースメッセージを載せ国内外の人々と平和交流
- 広島市立大手町商業高等学校 掘り起こした被災資料で脚本創り上演し戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える

【社会部門】

- NPO法人友愛アカデミー 日本語と文化を学ぶ韓国の学生を受け入れ、地域社

- 広島国際ホームステイクラブ ホームステイ・ビジットで国際交流・国際理解を進めて平和活動に貢献
- 本川地区女性連合会 女性の資質向上、地域の教育・福祉に尽力。国内外の人々にヒロシマの心発信
- まちづくり市民グループ「可部カラスの会」 地域環境の保全・啓発や

- 大人のかくれ家倶楽部 会と国際交流の推進を支援
- みやじま未来ミーティング 地域遺産の発掘・継承。地域の連帯を深めるまち創り
- 本川地区女性連合会 官島の自然で環境問題の体験学習と実践のプロジェクトを青少年を対象に推進

(教育部会長 足立柳子)

ユネスコ
活動奨励賞
受賞おめでとうございます

青少年・女性のページ

ユネスコの夢と 持続可能な社会づくり

高校生国際理解セミナー 市青少年セン ターと共催

2013年
度（平成25年
度）の「高校
生国際理解セ
ミナー」が、
昨年末・12月
23日（祝・月）、
広島市中区の
市青少年セン
ターで開かれ

ました。高校生ら42人が参
加しました。

【講演】

午前中は「ユネスコの夢
と持続可能な社会づくり」
と題して、広島大学名誉教
授の中山修一氏（広島ユネ
スコ協会副会長）が講演。中
山氏は「ユネスコの夢は戦
争のない平和な世界をつく

るため、全ての人々の心の
中に平和の砦を築くこと、
加えて平和で持続可能な社
会を実現することにある」
と強く訴えられ、この日参
加した高校生に大きな期待
の声をかけられました。

【体験発表】
次いで行われた体験発表
と意見交換では、最初に広

島大学附属高校1年の小桜
智穂さんが活動報告しまし
た。小桜さんは、長崎市の
市民団体が選んだ高校生平
和大使20人の1人として、
昨年8月、スイス・ジュネー
ブの国連欧州本部を訪れて
核廃絶をスピーチした体験
を紹介。「私たち高校生の
行動が、平和の波を起こす
きっかけになれば」と感想
を述べました。

続いて昨年オーストラリ
アへ留学した、クラーク記
念国際高校2年の藤賀渉世
さんと、檜山奈々さんが
ホームステイ留学で家族や
学生と交流を深める中で、

語学力を向上させ貴重な生
活体験もできたと、話しま
した。

【討議と意見のまとめ】

このあと5グループに分
かれて、広島大学附属中・
高校教諭の藤原隆範さんの
司会進行で、この日の基調
講演のテーマでもある「ユ
ネスコの夢と持続可能な社
会づくり」について討議、
意見交換を行いました。

各グループからは「ユネ
スコの認知度が低いので
は」「日韓関係も高校生同
士が仲良く交流すること
によって、国の間の認識の違
いを改めることができるの
では」「今の幸せを持続す
ること。夢を持ち続けるこ
と」「交流にあつては、先
入観を排し相互理解を」「日
本の推進で決まったユネス
コの持続可能な社会づくり
に取り組もうと思う。しか
し現状は、日本は誇れる国
とは言えない」など、厳し
い意見や感想が相次いで出
されました。

【コーアクション（世界寺 子屋運動募金活動）】

高校生と広島ユネスコ協
会会員らは午後、市内中区
八丁堀の天満屋ビル前交差



平和大使の体験を報告する小桜さん



留学体験を話す藤賀さん（左）と檜山さん（右）



平和や国際理解などについて意見を交換

点の街頭に立ち、道行く市民に「世界の恵まれない子どもたちが教育を受けられるため、世界寺子屋支援の募金をお願いします」と呼びかけました。たくさんのおみなさんから支援募金（57,026円）が寄せられました。寒い中、活動に参加して頂いた高校生や協



世界の恵まれない子どもたちが教育を受けられるようにと募金支援を訴える高校生

会の皆さん、本当にありがとうございました。

「国際理解セミナー・街頭募金」に参加して

広島大学附属高校1年

小椋 智穂さん

様々な場で活躍する方と、「国際理解とは何か」「私達に求められている事は何か」意見交換を行った事が一番印象的でした。同じ目的を持つ人と意見交換を行う事で、新たな考えが生まれるだけでなく、今後の活動に対する情熱も生まれました。理解とは受け入れる事であると同時に繋がる事である。私は、国際理解の出来る人とは、全ての事に

繋がりを見出せ、それを国際という大きな輪へと導ける人ではないかと思えます。募金をして下さった方々の思いやりに触れられた事も、良い経験となりました。貴重な体験を与えていただき、ありがとうございます。

《報告》高校生国際理解セミナー終了後、中区八丁堀で世界寺子屋運動の募金活動をいたしました。

集まった募金57,026円は、ただちに12月25日、日本ユネスコ協会連盟に送金いたしました。

(事務局長 藤井孝行)

第16回広島訪問平和学習

杉並ユネスコ青年部が3月27・28日に

今年も東京・杉並ユネスコ協会青年部（高校生・大学生中心）の広島訪問平和学習が行われます。日時は3月27日（木）～28日（金）の2日間です。今回で16回目になります。研修会場は国立広島原爆死没者追悼平

和祈念館（地下1階 研修室1・2）。青年部の皆さんは、

27日に広島平和記念資料館を見学したあと、新井俊一郎さんの被爆体験証言を聞き、広島の高校生・会員との交流会にのぞまれます。

28日には、公益財団法人放

大林小がユネスコスクールに認定

広島市立大林小学校がゲンジボタルの保護活動に取り組む、国連教育科学文化機関（ユネスコ）から「ユネスコスクール」に選ばれ、1月7日、同小学校で認定プレートの贈呈式がありました。

北川建次広島ユネスコ協会会長が、同小学校体育館において、全児童69人の前で、堂道と雄校長にステンレス製のプレートを手渡ししました。

(事務局長 藤井孝行)



橋本さんが「春のさわやかコンサート」

第百五十八回目となる「ユネスコサロン」(出前講座)が、3月15日(土)、段原公民館で行われました。今回は同公民館の新築オープンも記念し、講師に橋本勇夫さんを迎え、「春のさわやかコンサート」と題した「オルゴールとギター演奏」を楽しく聴かせていただきました。

演奏曲目は「星空の下で」「禁じられた遊び」「花は咲く」などでした。

書き損じはがき 回収のお願い

世界には学校に行きたくても行けない子どもや、読み書き計算ができない人が数多くいます。

1990年の国際識字年を契機に、日本ユネスコ協会連盟は世界寺子屋運動と称する「すべての人々に教育を」を目標にした途上国への教育支援を始めまし

た。
広島ユネスコ協会もこの運動に参加協力していま

す。
みなさまの「書き損じはがき」の回収への協力活動をとおして預かったはがきをまとめ、郵便局で手数料を1割で切手に交換。

さらに本部は全国から送られた切手を企業などの協力を得て換金し、これを資金として途上国の識字教育

教育部会理事

谷原久資氏



います。

当時は勤務時間に余裕がなく、ユネスコの研修時間と重なり参加出来ない会員でした。

会議に参加できるようになって懐かしい顔ぶれにも出会い、永い間の空白を感じました。

ユネスコに関する教育委員会の組織が充実し、民間のユネスコ協会ができました。

行政側からも応援するように指示があり、たくさんの職員が入会しました。私もユネスコの活動や内容も理解しないままでの入会でした。入会したのは昭和五十年頃だったと思

会議や研修に参加し、ユネスコの活動が次第に理解できるようになりました。

ユネスコの精神は「世界平和を願ひ、民族の違いで差別をしない人間。欲望のための争いをしない」。私もそんな思いで日々、努力をしているところで

のひと顔、の 広島ユネスコ協会の



広島平和文化センター理事

柴田幸子さん



1995年、北京で開催された第4回世界女性会議に、参加する機会に恵まれました。このことは、私の人生にとって、大きな転機となる出来事でした。そこで出会った世界の女性たちの、行動力と熱気に、圧倒感発され、私たちも、広島に住む女性として何かしなけ

れば、と思ったことでした。そして、「絵本を通してヒロシマを世界に伝える」ことを始め、活動奨励賞をいただいたのが縁でした。現在も続けています。ユネスコでは、今年15回目を迎える「平和の鐘」の集いや、「杉並ユネスコ協会青年部平和学習」、受入れ等の活動を通して、多くの人々と出会い、貴重な体験と学ぶ機会をいただきました。

- 7日/ユネスコスクールレポート贈呈式(大林小学校)
- 12日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会準備会(段原公民館)
- 18日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会会長・副会長・部会長会議(市民交流プラザ)
- 20日/大垣ユネスコ協会・NGO法人SOJAGマティンさんご夫妻広島訪問(広島平和記念資料館)
- 24日/杉並ユネスコ協会広島訪問打合せ会議(平和・世界遺産部会)
- 5日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会反省会(会長・副会長・部会長)
- 15日/広島ESD・ユネスコスクール研究会第3回研究会(広島大学附属高校)
- 15日/第158回ユネスコサロン橋本勇夫さんのギター演奏とオルゴールの響き(段原公民館)
- 15日/理事会(段原公民館)
- 27・28日/杉並ユネスコ協会第16回広島訪問平和学習(広島平和記念資料館など見学)

日誌

- 5日/ユネスコ活動奨励賞受賞者団体紹介編集会議(14年1月)
- 20日/市民交流プラザ(市民交流プラザ)
- 27日/スペイン語講座(市民交流プラザ)

- プロジェクトを通じ支援しています。
- 今の支援国は、アフガニスタン、ネパール、カンボジアなどアジアの国々です。
- (文化部会理事 山本隆信)
- 7日/ユネスコスクールレポート贈呈式(大林小学校)
- 12日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会準備会(段原公民館)
- 18日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会会長・副会長・部会長会議(市民交流プラザ)
- 20日/大垣ユネスコ協会・NGO法人SOJAGマティンさんご夫妻広島訪問(広島平和記念資料館)
- 24日/杉並ユネスコ協会広島訪問打合せ会議(平和・世界遺産部会)
- 5日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会反省会(会長・副会長・部会長)
- 15日/広島ESD・ユネスコスクール研究会第3回研究会(広島大学附属高校)
- 15日/第158回ユネスコサロン橋本勇夫さんのギター演奏とオルゴールの響き(段原公民館)
- 15日/理事会(段原公民館)
- 27・28日/杉並ユネスコ協会第16回広島訪問平和学習(広島平和記念資料館など見学)